

第5 学年 組 道徳学習指導案

平成27年11月19日(木) 第3校時

指導者 教諭 K. W

在籍児童数 38名(男子18名 女子20名)

- 1 主題名** 自分の心に誠実に〔1―(4) 誠実・明朗〕
資料名 「手品師」 出典 「みんなのどうとく」学研

2 主題設定の理由

(1) 内容項目について

本単元の内容項目1―(4)は「誠実に、明るい心で楽しく生活する。」ことを内容としている。高学年という児童の発達段階においては、自分に対する誠実さが一層求められる。特にその誠実さが内に満ち溢れているだけでなく、外に向けて発揮されるように配慮する必要がある。そのことが、より明るい心となって表れ、真面目さを前向きに受け止めた生活を大切にしながら、みんなと楽しい生活ができるように指導していくことが大切である。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、明るく、優しい児童が多い。しかし、精神面に弱さ、幼い面も見られる。自分の失敗やいたづらを素直に認めることができず、適当に言い逃れをする児童もいる。自分をよく見せたいあまり、その場をとりつくろい、クラス内での信頼を失うという場面も見かける。また、クラス内の決まり事や注意されたことをその場では守るが、長続きせずに再度注意を受ける児童がいるのが現状である。

そこで、この学習に関わる実態を把握するために、以下のようなアンケートを実施した。

(平成27年9月29日実施 38人中37人回答)

	はい	いいえ
1. 約束は大切だと思いますか。	37	0
2. 約束を守らなかったことがありますか	28	9
3. 約束を守らなかったのは、どのような理由からですか。	他に(急ぎの、どうしてもやる)用事ができた。忙しくて。天気が悪かった。面倒になった。忘れた。無理になった。けがや病気をした。宿題がおわらなかった。誘惑に負けた。親にだめと言われた。	
4. 約束をやぶられたことはありますか。	22	15
5. やぶられたことのある人は、どのような気持ちになりましたか。	嫌だった(遊ぶ人数が足りず)。悔しかった。悲しい。ずるいと思った。むかつく、いらいら、うざい。またどうせ今度もやぶられる。約束したのに……。なんで来ないか心配した。また遊べるから大丈夫。そんなに気にならない。	

アンケートの結果では、学級の児童のほとんどは、約束は大切だと思っている。しかし、約束を守らなかった経験のある児童が3分の1いることもわかった。その理由では、先に約束したことをその後他

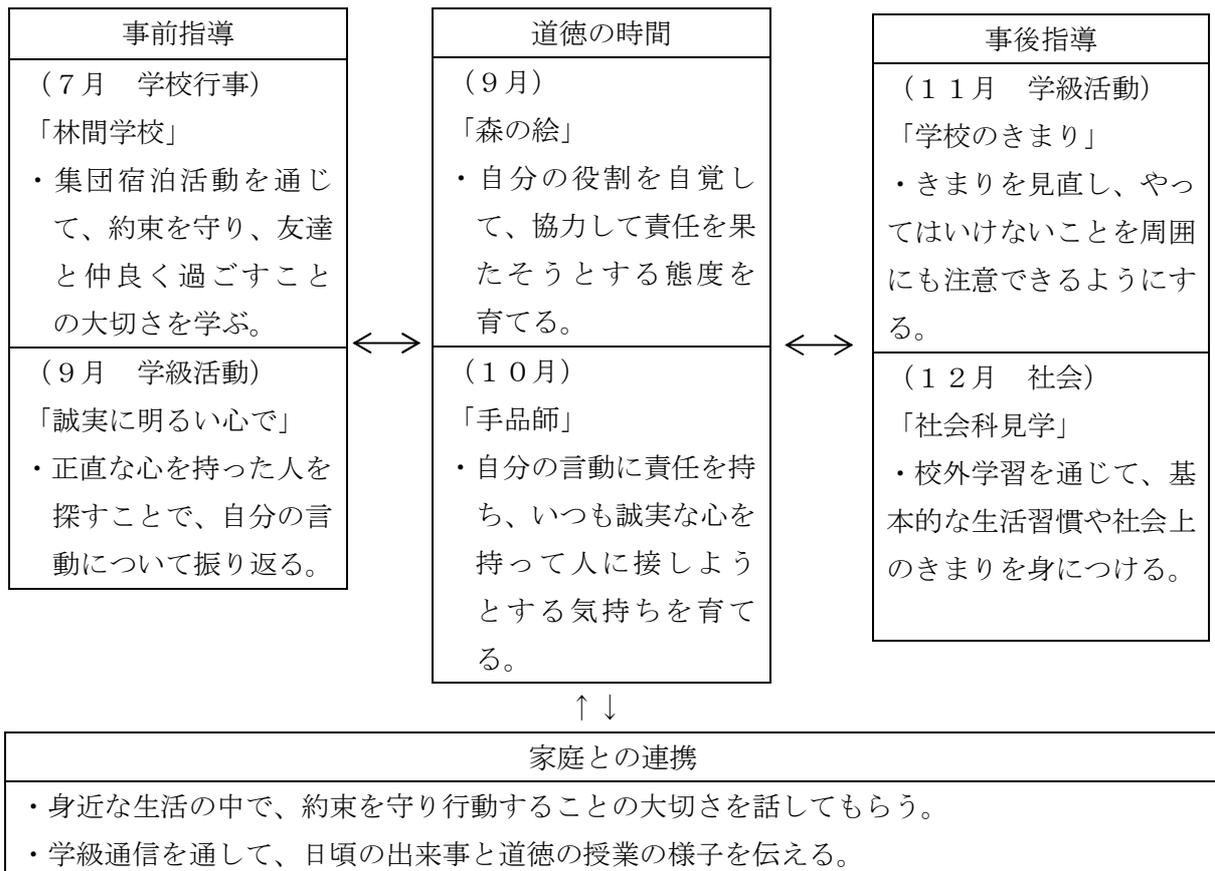
に用事ができたから守れなかったことが一番多くあったことがわかった。

(3) 資料について

本資料では、腕はいいがあまり売れない手品師が主人公となる。彼は、大劇場のステージに立つことを夢見て、日々腕を磨いている。ある日、しょんぼりしている男の子に出会い、手品を見せてやることにより、その男の子は元気を取り戻す。そして、次の日も手品を見せることを約束した。その夜、仲の良い友人からの電話で、大劇場に出るチャンスがあることを知らされる。手品師は、大劇場のステージに立ちたい気持ちを捨て切れずに悩むが男の子との約束を選ぶ。そして、次の日たった一人のお客様を前にして手品を演じるという内容である。

この資料を通して、自分の夢が実現するチャンスよりも、男の子を思いやり、約束を優先した手品師の誠実な生き方を題材にしている。手品師の誠実さあふれる生き方を考える中で、自分の言動に責任を持つことの大切さ、誠実に生きることの素晴らしさを感じ取らせるとともに、誠実に明るい心で生活しようとする心情を育てたい。

3 他の教育活動との関連



4 本時の学習・活動

(1) 研究主題とのかかわり

「一人一人を確実に伸ばす授業の創造」
 ～確かな学力を身につけ、自ら学ぼうとする児童の育成～

- 仮説1 自分の考えをしっかりともち、課題解決に向かって意欲的に解決する場を設定すれば、自ら学習する児童が育つであろう。
- ・主人公になりきってより深い考えができるようにするために、物語を前半と後半に分けて読み分ける。
- 仮説2 自分の意見を表現し、他と比較しながら聞く話し合い活動を続けていけば、学び合う姿勢が身につくであろう。
- ・同じ考えを持つグループで話し合った後、違う考えを持つグループと話し合いをする。また、他の考えを視覚的に捉え比較し考えることができるように思考ツール（ベン図）を活用する。
- 仮説3 学習を振り返り、自己評価や相互評価をする学習を積み重ねれば、確かな学力が身につくであろう。
- ・学習の振り返りカードを記入するだけでなく、授業後に児童の様々な考えを掲示することで振り返る機会を増やす。

(2) 目標・ねらい

どんな場面でも自分の心に忠実に、そして相手に真心をもって接することの素晴らしさに気づかせることにより、自分の言動に責任を持ち、いつも誠実な心を持って人に接しようとする気持ちを育てる。

(3) 展開

段階	学習活動・主な発問	予想される児童の反応	・指導上の留意点・支援 □評価☆研究主題とのかかわり	資料 時間
導入	1 アンケートの結果を確かめる。	・約束を守る人が全員。 ・悔しい気持ちがわかる。 ・何で守らないのか。	・本時の導入として簡単に取り上げる。	5
展開	2 資料について知る (1) 登場人物、条件、状況について知る。		・登場人物の絵やカードを用いて、条件、状況をおさえる。	35 場面絵
	登場人物	手品師…うではいいが、あまり売れない。その日暮らし。 大劇場のステージに立つのが夢。 男の子…お父さんが死んでしまった後、お母さんは働きに出ていて帰ってこない。ひとりぼっち。		
	状況	手品師は男の子とある約束をしたが…。		

	<p>(2) 教師の範読を聞く。</p> <p>○手品師の気持ちを考えながら聞きましょう。</p> <p>3 資料について話し合う。</p> <p>(1) どんな思いから、男の子との約束をしたのだろう。</p> <p>(2) 大劇場での話が来たとき、みんなならどうしますか。また、それはどんな考えからですか。</p> <p>①自分の考えをワークシートに記入する。</p> <p>②グループで話し合う。</p> <p>③全体で話し合う。グループごとに発表して、意見を聞き、話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の手品でこんなに喜んでくれうれしい。 ・男の子を元気づけたい。 ・明日も用はないから。 <p>大劇場グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これで夢が叶う。 ・貧乏から抜け出せる。 ・有名になれば男の子をもっと喜ばせられる。 ・男の子よ、ごめん。 <p>男の子との約束グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先の約束は守るべきだ。 ・男の子が悲しむ。 ・大劇場はまた行ける。 <p>迷いグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わからない。 ・約束は大切だが、夢も大切だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の状況が分かるようにゆっくり範読する。 ・大劇場への誘いの電話がきたところまでの前半部分の本文を配付する。 <ul style="list-style-type: none"> ・元気を取り戻した男の子を見て、明日も来てあげようと約束する手品師の優しさに共感させる。 ・友人の電話に、大劇場に行こうか、男の子の約束を守ろうかと葛藤する手品師の心の内について深く考えさせる。 <p>□大劇場に行こうか、男の子の約束を守ろうかと葛藤する手品師の心の内について深く考えているか。〔ワークシート〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大劇場に行く／男の子との約束を守る／どちらか選べないという3つのグループに分けて、その理由を話し合う。 <p>☆ベン図を使うことによって、それぞれのグループの意見が整理され、比べながら考え深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・批判的な意見に偏りすぎないようにさせる。 ・話し合っているとき、自分の考えが変わった児童は席を移動する。 	<p>本文プリント</p> <p>ワークシート</p>
--	--	---	---	-----------------------------

	(3) 最後は男の子との約束を選んだ手品師は、どんな気持ちになったのだろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・これでよかった。 ・約束を守ってよかった。 ・男の子が元気になった。喜んでくれた。 ・また夢に向かって頑張ろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・男の子との約束を選んだ後半部分の本文を配付する。 ・男の子の笑顔を見て、自分の選択に満足している手品師の心をおさえる。 	本文プリント
終末	4 自分を振り返る。ワークシートの記入をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・これからは先にした約束は守るべきだと思った。 ・自分も手品師のようになりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合う前の自分の気持ちを振り返りながらワークシートに記入させる。 <input type="checkbox"/> 約束を守る誠実な気持ちをもつことができたか。[ワークシート]	5 ワークシート

5 板書計画

